

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こころん		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内が細分化されていないので他者がしていることを見て興味を持ってくれる機会が増える。また、当たり前のように他者と関わる機会が増え、状況において自分がどうすべきかの経験を積んでいける。	職員が間に入ることで利用児童同士の関りを増やしている。「今は音を大きく出さない」など状況により声かけを行い状況判断を促している。	普段過ごす中で「してはいけないこと」「この状況ではできない」等、社会に出て失礼な態度や言動を身に着け、我慢することも経験していってもらえるよう対応していく。
2	広い公園が目前にある。少し歩けば小さい公園もたくさんある環境。	公園希望時はできるだけ行けるようにしている。1対1でも対応できるような体制作り。	室内で過ごすことが多い児童に対し、外に行ってもいいと思ってもらえるような対応を考えていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長時間の日などダラダラと過ごしているときがあるのでメリハリが必要である。	日々の中で皆一緒に興味を持って参加してもらう内容など考えるのが難しい。 職員で意見交換し実行できるまでの案に持ち込んでいく力が不足しているよう感じる。	全員一緒に無理でも数名参加できる内容を考えていく。職員同士意見交換し検討していく。
2	室内が細分化されていないので勉強している子、遊んでいる子などで集中しづらい。勉強中の子がいつまでもいると遊んでいる子が静かに遊ばないといけない。	構造上、細分化は無理なので勉強中の子がいるときは皆に大きな音を出さないようお願いしている。	継続して状況により皆に協力を仰いでいく。 ただ、ざわざわしている中で勉強できるようになっていっているということも言える。
3			